

# 感染予防へ「10の知識」

## 厚生省 新型コロナの特徴紹介

厚生労働省は10月28日、新型コロナウイルスの感染力や感染状況、治療法などをQ&A形式でまとめた「10の知識」を発表しました。新型コロナウイルスの特徴を国民に正しく理解してもらい、感染予防を推進するのが狙いです。

「10の知識」の要旨は以下の通りです。

- ①感染者は年代別で20代が最も多く、20代人口の約0.2%（10月27日時点）
- ②6～8月の重症化率は約1.6%で50代以下が0.3%、60代以上では8.5%。  
死亡率は約1%で50代以下が0.06%、60代以上では5.7%。30代を基準に各年代の重症化率を見ると、70代は30代の4.7倍、80代では7.1倍と高く、10代は0.2倍、20代は0.3倍と低い。
- ③重症化しやすいのは高齢者と慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満などの基礎疾患のある人。
- ④日本の人口当たりの感染者数、死者数は世界主要国と比べ低い水準。
- ⑤他の人に感染させる期間は、発症2日前から発症後7～10日間程度。
- ⑥他の人に感染させる人は2割以下。3密環境で感染を広げなければ流行を抑えられる。
- ⑦3密環境は感染リスクが高い。飲食を伴う懇親会、大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりの「5つの場面」に注意。
- ⑧感染しているかを調べるのはPCR検査と抗原検査。感染歴を調べるのは抗体検査。
- ⑨軽症は経過観察。呼吸不全を伴うと酸素投与やステロイド薬、抗ウイルス薬を投与。改善しなければ人工呼吸器を使用。
- ⑩ワクチンは開発途上。発症や重症化を予防できるかは、今のところ（10月27日時点）不明。副作用はまれだが、不可避免的に発生する。

南東北グループ広報誌「南東北第345号」より転載